

市民のひろば編集サポーターがゆく 拡大版

新型コロナに負けない鹿児島市

地域おこし協力隊って？

自治体が都市地域の住民を受け入れ「地域おこし協力隊員」として任命し、魅力PR、祭りやイベントの運営など、地域協力活動を行なながらその地域への定住・定着を図る取り組み。全国で5千人以上が活動しています。

まちを想う。まちを興す。 地域おこし協力隊

桜島で活動を始めた二人に話を聞きました♪



石塚 真由さん

皆さん、「地域おこし協力隊」をご存じですか。本市では、3人の隊員がそれぞれの地域で活動しています。

今回は、「市民のひろば編集サポーター」が、活動内容や地域の魅力などをインタビューしました。

喜入のグリーンファームに行きました！



堂薗 遥佳さん

逆転の発想で「草刈り」を楽しむ

喜入に住み、活動する中で、地域のいろいろな課題も見えてきました。その一つが、空き農地などの雑草対策でした。さまざまな理由で管理が行き届かず、草が伸び放題となっていたので、草刈りを楽しみながら地域交流を行う「草刈りツーリズムプロジェクト」をみんなで企画しました。地域の皆さんとも話し合いを重ねることで、協力を得られました。市内外からの参加者と、草刈りを通してさまざまな交流が実現でき、自信にもつながりました。



行こうよ
草刈り
棚田編

YouTubeでも情報発信しているので、ぜひご覧ください！

グリーンファーム

喜入一倉町の広大な敷地に、キャンプ場や市民農園の他、農産物直売館やレストランなど、豊かな自然の中で農業体験・学習ができる施設です。体験プログラムや季節のイベントなど、

11面で紹介しています。

遊びにきてね！



編集サポーター堂薗のイチオシ 季節の野菜収穫体験

取材時はちょうどスナップエンドウの収穫時期。その場で申し込み、収穫させてもらいました。グリーンファームでは年間を通して、季節の野菜の収穫体験ができます。

自分で収穫した野菜の味は格別ですよ



2月は他にも、ニンジンなどが旬だそう。気軽に自然に触れて体験できるグリーンファームへ行ってみませんか。

これからも、グリーンファームだけではなく、地域全体が盛り上がるイベントと一緒に企画して、さらに喜ばれるまちにしていきます。



もともと、どんなことでもやってみる性格で、バーベキューインストラクターや自然体験活動指導者などの資格も取得しました。コロナ禍で思うようにイベントが開催できない状況にあります。が、グリーンファームの広大な敷地を生かしながら、これまで得た知識を活用して体験プログラムを企画・運営していきたいです。喜入地域は、住民の皆さんがとにかく協力的で、アイデアを形にしやすい環境です。地域おこし協力隊の活動は最後の年になりましたが、自然の中で仕事と子育てをしたいと考えていたとき、緑豊かな自然に囲まれたグリーンファームの協力隊募集のチラシを見つけ、すぐに応募を決意。家族で喜入に移住しました。

大学卒業後、東京などで働いていましたが、自然の中で仕事と子育てをしたいと考えていたとき、緑豊かな自然に囲まれたグリーンファームの協力隊募集のチラシを見つけ、すぐに応募を決意。家族で喜入に移住しました。移住して最初の1年は、消防団など地域の人たちとの交流などを通し、まずは喜入を知り、なじむことから始めました。グリーンファームの魅力である農作業に関してはゼロからのスタートでしたが、農業技術から野菜の育て方を教わるだけでなく、市内外の農業事情も積極的に学ぶようにしました。

橋口さんはチャレンジ精神旺盛で、何よりアイデアマンです。これまで誰も思いつかなかつた発想で、新たにディキャンプを導入したり、遊歩道でクイズラリーを実施したりするなど、利用者からも大変好評です。

また、とにかく明るく、研究熱心。最初は私が喜入を案内して回りましたが、いつの間にか地域の人やスポットを逆に教えてもらうようになりました。今では喜入地域の太陽のような存在になっています。

グリーンファーム
追立主任
同公園のイベント企画・運営などを担当

喜入地域×グリーンファーム

橋口さんと一緒に働く仲間に聞きました

太陽のような橋口さんと一緒に喜入を活気あるまちに盛り上げます

盛り上げます

喜びに入るまち「喜入」を

地域の一員として

太陽が恋しくなり、喜入に移住

地域おこし協力隊
橋口亮さん
鹿屋市出身
2018年12月から
喜入にある
グリーンファーム
(観光農業公園)
で活動開始